

Free
Dec.2020

kamon つながるライブラリー
みんなが選ぶ

絵本 30 選 2020



k a m o n
T S U N A G A R U
L I B R A R Y



思いをシェア
しよう!

～今だから、贈りたい～
元気が出る！勇気がわく！
みんなが選んだ絵本を30冊ご紹介。

コロナ禍で迎える初めての冬。
「いつもはにぎやかに集うクリスマスや年末年始、今年はどうしよう」と、
悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。
離れて暮らす家族や大切な人と会えないことはさびしいけれど、こんなとき
だからこそ、新しい過ごし方、楽しみ方を探してみるのもいいですね！

kamonかしわインフォメーションセンターでは今秋、
「元気が出る！勇気がわく！絵本」をテーマに、広く
皆さんからオススメの1冊を公募し、このたび30選
としてまとめました。

ページをめくれば思わずときめき、心に響く絵本たち
とであえるはずです。
さあ、あなたもページを開いてみましょう！



企画制作：kamon かしわインフォメーションセンター
協力：柏市立図書館、児童書専門店ハックルベリーブックス、古書絵本専門店ブックスズキ
2020年12月1日発行



kamon
かしわインフォメーションセンター
Kashiwa Information Center

kamon (かもん) かしわインフォメーションセンターについて
柏駅南口から徒歩1分。柏市や近隣市町の地域の情報提供をしています。
イベント観光情報のほか、各種MAP、まだ知られていない柏の魅力も発信中。
お気軽にお立ち寄りください。



kamon つなが みんな 絵本

応募総数 81点！
たくさんの方々からご投稿いただき、
ありがとうございました。
どのコメントも思いのつまった
ステキなものばかり。

奥山さん
コメント

「絵本」と「物語の本」の
ちょうど間くらいの本で、
絵本のよさと物語のよさが
両方つまっています！



おおきな おおきな おいも

市村久子 原案 赤羽末吉 作・絵
1972年発行 福音館書店 1,320円

ふわっとお芋の香りがする気がして、大好きな本です。目の前に何もなさびしさは、これから自由に創作することができるワクワク感にかえられる！それが人間のパワーだと、絵本の中の子どもたちが教えてくれました。

推薦者：奥野（千葉県流山市）

※絵本はすべて税込価格です。



奥山さん
コメント

絵の中にも
たくさんストーリーがあり、
重層的な絵本ならではの
楽しさがあります！



バムとケロのもりのこや

島田ゆか 作・絵
2011年発行 文溪堂 1,650円

読んでみたら、本当に造りたくなります。森に小屋を造ったら、いい気持ちになると思って選びました。

推薦者：まっちゃん（柏市増尾台）



奥山さん
コメント

大人まで十分楽しめる
美しい絵本です！



ルリユールおじさん

いせひでこ 作
2011年発行 講談社 1,760円

お気に入りの植物図鑑を直してもらおうと、訪ねた本の修理のおじさんの本への愛情と少女のふれあいは、今も息づいている。街なみの美しい絵といっしょに私の心を癒してくれたステキな本です。

推薦者：ベレー（柏市柏）



ハックルベリーブックスさんってこんなところ！



ハックルベリーブックス 店主 奥山恵さん

「絵本 30 選展」選考委員長

人と会う機会が減っていることから、今年はおじいちゃん・おばあちゃんが孫に絵本を贈る、知人の出産祝いに絵本を贈るという方が、例年より多くなっているように感じます。コロナ禍では、絵本とならんで人気の紙芝居もオススメです。離れていても絵がきれいに見えますし、家族で互いに読みあったりするもの楽しいですよ。

店内は、バリエーション豊かな絵本・児童書、オシャレな文具やカードなどの雑貨でいっぱい！行くたびに発見がある夢の空間です！2階にはイベントスペースもあり、文化交流の拠点にもなっています。運がよければ、フクロウのフーちゃんに会えることも!?

【住所】千葉県柏市柏 3-8-3
【電話番号】04-7100-8946
【営業時間】10:30～暗くなるまで
【定休日】水曜日、第2・第4火曜日



奥山さんの相棒
フーちゃん

ホームページ <http://www.huckleberrybooks.jp/>

るライブラー が選ぶ 30選 2020

一人ひとりの
温かいエピソードとともに
絵本の魅力を感じていただき、
新たな1冊との
であいになればと願っています。

本紙でご紹介する絵本30冊は
柏市立図書館様のご協力のもと、
12月1日(火)から12月25日(金)まで、
kamon かしわインフォメーションセンターで
展示されるとともに「こども図書館」でも
お楽しみいただけます！



このページでは、
市内で絵本・児童書店を営み、
日ごろから絵本の魅力を発信しているお二人に、
30選の中からお気に入りの3冊を
ピックアップしていただきました。

ぜひゆっくり読み聞かせをしてみてください。
聞いている方は、言葉の心地よい繰り返しと美しい絵に、
癒しと勇気をもたらえると思いますよ！

社会人になった女の子が
久しぶりに来店してくれたとき、
涙を流して読んでくれました。
あるがままの自分を
見つめなおすきっかけになる絵本！



たいせつなこと

マーガレット・ワイズ・ブラウン 作
レナード・ワイスガード 絵 うちだややこ 訳
2001年発行 フレーベル館 1,320円

「自分にとって、一番大切なことは、自分が自分であること」というメッセージは、年齢、性別を超えて人を支えてくれる！

推薦者：川原喜久子（柏市布施新町）



あさになったので まどをあけますよ

荒井良二 著
2011年発行 偕成社 1,430円

圧倒的な画力！美しい風景描写に疲れた心も癒されます。どんな場所においてもどんなに苦しくても、朝は必ずやってきて柔らかな陽ざしで包んでくれる。そう思うとなんだか勇気がわいてきて、今日も笑顔でがんばれる気がします！

推薦者：かぼクンのママ（柏市つくしが丘）



人生において誰かの役に立つことは大きな意味があること。
それがわかりやすく楽しく表現されていてステキです！



ぐるんぱのようちえん

西内ミナミ 作 堀内誠一 絵
1966年発行 福音館書店 990円

なかなか自分の居場所を見つけられないゾウのぐるんぱ。たくさんの失敗を重ねながら自分の生きる場所を見つけた姿に拍手喝采！子どもの頃、何度も何度も読み返し、どれだけ勇気もらったことか…。大好きな一冊です！

推薦者：きえちゃんのパパ（東京都世田谷区）



※絵本はすべて税込価格です。

ブックスズキさんってこんなところ！

子どもの心を豊かに育む場を作りたいと語る鈴木さん。広い店内には鈴木さん厳選の絵本がズラリ。赤ちゃん連れの方でも、親子でゆっくり安心して絵本を読めるように、マットを敷いて「絵本ひろば」を新たに作ったそうです。絵本を通じたコミュニケーションがさらに広がりそう！

【住所】千葉県柏市松葉町 5-15-13
【電話番号】04-7132-5870
【営業時間】10:00～17:00
（冬季 16:30）
【定休日】火曜日



古書絵本専門店ブックスズキ 店主 鈴木千里さん

コロナ禍で思うように外出できないですが、うまく気分を変えることを見つけてほしいと思います。そのひとつが絵本になるのでは。温かさがあったり、ハッピーエンドだったり、人とのコミュニケーションがやさしく描かれている絵本を読むと、気持ちが落ち着いてきます。言葉で表現しなくても自然に心に入ってくる——絵本の良さはそこ。どんな方でも、今の自分の心情を癒してくれる絵本があると思いますよ。



ブログ

<https://ameblo.jp/books-suzuki/>



**まぐらのせんじん
そのあなたの巻**

かがくいひろし 著
2010年発行 佼成出版社 1,430円

枕が主人公なので、わが家では寝る前に全員枕を抱きながら読むのが定番。後半、わが子が絵本に参加するというまさかの仕掛けがあり、何度読んでも大盛り上がり！親子でニッコリ、そしてグッスリ。早速今夜お試しあれ！
推薦者：藤井真理子（我孫子市根戸）



はじめてのおつかい

筒井頼子 作 林明子 絵
1977年発行 福音館書店 990円

誰にでも「最初」はあって、できるか不安だけど、思い切ってやってみる!! ちょっぴり失敗したって、勇気を出したら経験になる。幼い頃は、ほとんどのことが初めてばかり。その気持ちを思い出し、元気が出る絵本です。
推薦者：りつつん（柏市花野井）



どんなにきみが好きだか あててごらん

サム・マクブラットニイ 文
アニタ・ジェラーム 絵 小川仁央 訳
1995年発行 評論社 1,430円

チビウサギとデカウサギが「どんなにきみが好きだか」をいろいろとたどって言い合いっこ。お互いの愛情たっぷりの会話にほっこりします。子どもに「大好きだよ」と毎日伝えられているかな？と考えさせられる絵本です。
推薦者：鈴木香代子（柏市若柴）



おむかえ まだかな

もとしたいづみ 作 おかだちあき 絵
2015年発行 学研プラス 1,430円

うちの子どもたちは、いつも「お迎え遅い組」だったので、この絵本を読んだ時は胸が詰まって泣きそうになりました。おかだちあきさんの優しい絵も好きです。働くお母さんには、ぜひ一度読んでみてほしい一冊です。
推薦者：ひらたみその（柏市根戸）



くっついた

三浦太郎 作・絵
2005年発行 こぐま社 880円

娘が小さい頃、読み聞かせながら頬をくっつけたことを思い出して、ほのぼのします。
推薦者：りさ（柏市千代田）



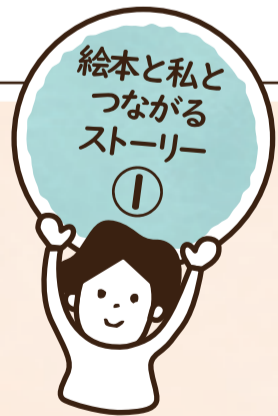
わにわにのおふろ

小風さち文 山口マオ 絵
2004年発行 福音館書店 990円

「なぜ？」とか「どうなったか」ではなく、ひたすらワニがお風呂を満喫するだけの展開は衝撃でした。うりうりうりうり。プープーららら。難しいことを考えず、今を楽しんじゃおうという気持ちにさせてくれます。
推薦者：ガラシャ（柏市八幡町）



※絵本はすべて税込価格です。



No Wakuwaku! No Life!
絵本 × オトナ × ステキ ☆ 時間を探求する！
「えほん未来ラボ」代表 濱崎祐一さん

子どものみならず、大人の心をも魅了し、期せずして“ハマる”人も少なくない絵本。千葉県印西市在住二児の父親、ドンハマ★こと濱崎祐一さんもそのひとり。2014年にスタートした「おとなの絵本プロジェクト」ではゆるやかにつながる仲間たちと様々な絵本アクションを展開し、Facebookページのフォロワーは3,000人を超えるまでに！大人と絵本の世界に新たな風を巻き起こしました。コロナ禍でもユニークなアイデアでプロジェクトを展開するドンハマ★さん。その熱き思いをうかがいました。



蝶ネクタイがトレードマーク
ドンハマ★さん

大人がみんな笑顔になっちゃーう！！



よみきかせナイト

Q: 「おとなの絵本プロジェクト」とは？

40代で子どもを授かり、小学校で絵本の読み聞かせ体験をしたことでその面白さにハマりました。「これは子ども向けだけじゃ、もったいない!」「大人が子ども心に戻れる場づくりをしたい!」との熱い思いがこみ上げ、スタートしたのがこのプロジェクトです。まずは「大人 × 絵本 × 食事（アルコールもあり）」をコンセプトに、集まった人が交代で絵本を読む「よみきかせナイト」を始めました。SNSで大きな反響となり、5年間で300回開催、5,000人以上が参加しました。絵本を通じて大人が自分らしくいられる場づくりができました。

Q: 「よみきかせナイト」を2019年に終了されましたが、その心は？

「よみきかせナイト」は、リアルに集まれる人たちがその楽しさを共有できるというもの。けれど次第に、イベントに参加できない人、ふだん絵本に触れる機会がない人にも読んでもらいたいという思いが強くなりました。「よみきかせナイト」だけでは絵本の魅力は伝えきれていない、と思って。とはいえ、活動休止により自宅の蔵書1,000冊が活躍の場を失うこととなり、絵本たちがさびしうに見えたのです。そこで思いついたのが、絵本がまるで旅するように、人から人へと手渡されていく「旅する絵本♥」。

私の手元から旅立たせることで、もっと多くの出会いや価値が生まれるのではないかと。読み聞かせ以外の手法で人と人をつないでいき、買うでもなく借りるでもない「旅する絵本♥」という新たな流通方法の社会実験であるとともに、「ありがたい未来を、絵本でソーシャルデザインしていく」という試みでした。



次の人へ手渡し！



ほしじいたけ ほしばあたけ
いざ、せんになやまへ

石川基子 作
2018年発行 講談社 1,430円

本屋さんで見つけ読んだらとても面白く、大人の私が気に入ってしまい、娘に読んだらやはり大ウケ。娘の通う小学校で全学年に読み聞かせて読んだらすべての学年でも大ウケでした。干しいたけが好きになります。

推薦者：まみや商店（柏市柏）



ねこはるすばん

町田尚子 作
2020年発行 ほるぶ出版 1,650円

お留守番中のネコが、のびのびと自分の世界で楽しむ様子、表情、仕草が、ふてぶてしくもかわいらしくて、何度も本を開いてしまいます。町田さんの絵はネコはもちろん、背景も上手で素晴らしいです。

推薦者：モモカイ（柏市南逆井）



フレデリック

レオ=レオニ 作 谷川俊太郎 訳
1969年発行 好学社 1,601円

亡き母の口ぐせが、「ムダも身の内」でした。人生が彩どり豊かになるために、本当に必要なことを教えてくれる絵本です。

推薦者：るな（柏市豊四季）



ぼちぼち いこか

マイク=セイラー 作 ロバート=グロスマン 絵
いまえよしとも 訳
1980年発行 偕成社 1,320円

一生懸命だけど失敗ばかり、それでもいつも前向きに進み続けるカバさん。応援したくなるその姿、そして関西弁のリズム感とほのぼのした絵に、いつの間にか私たちが元気をもらっている、そんな素敵な一冊です。

推薦者：くりりん（柏市旭町）



それしかないわけないでしょう

ヨシタケシンスケ 著
2018年発行 白泉社 1,430円

お兄ちゃんから「未来には大変なことしかない」と言われた妹が、おばあちゃんの言葉をきっかけに、「それしかないわけないでしょう」といろいろな可能性を想像していく物語が、コロナ禍で大変だけど、前向きになれる。

推薦者：aya（柏市根戸）



どんなかんじかなあ

中山千夏 文 和田誠 絵
2005年発行 自由国民社 1,650円

ラスト1ページの衝撃。そして、あたたかな気持ちに。

推薦者：dozeu（柏市弥生町）



※絵本はすべて税込価格です。

Q：さらに今春には、「アマビエといっしょに旅する絵本♥」というユニークな企画も展開しましたね。

はい。実はその「旅する絵本♥」が手渡しで数十冊旅立った頃、コロナウイルス騒動で活動できなくなりました。それでも、絵本を手にした人が元気になってくれればうれしいと、郵送で届けることを考えました。同時に、どうせやるなら面白く、コロナ(567)を超える568冊を送っちゃえ!(笑)と、「コロナに負けない」ために、自筆のアマビエのイラストも添えて送りました。

アマビエといっしょに旅する絵本♥



自営業中のカフェオーナーから元気が出ましたとの感想をいただきました!(沖縄・読谷村)

Q：なんと、ユニークですね! 反響はいかがでしたか?

それがものすごい反響で、申し込みが殺到して、1か月ほどで全国47都道府県すべてに「旅する絵本♥」をお送りできたんです。当初は手にした人たちを元気づけようと始めたプロジェクトでしたが、実は私自身が大いに癒されました。というのも、旅立つ本を送る前に1冊1冊読み返し「絵本のシャワー」を浴びてみると、自身の精神バランスを保てるようになったんです。また、各地からうれしい報告が続々と届き、大いに勇気づけられました。

アマビエといっしょに旅する絵本♥



全国各地に570冊郵送しました!

Q：今後はどんな活動を?

活動のテーマは、絵本を通じて人が元気になること。そして、最後は、絵本を身近に感じる暮らしが文化・習慣になればいいなど。学生時代、世の中を良くしたい!と思っていましたが、その答えが見つかった気がします。楽しいことは勝手に広がる。正しいことも大事だけど、楽しいことをより大事にしていきたいです。



アマビエといっしょに旅する絵本♥



老舗酒蔵さんとアマビエタグ!(鳥取・境港)

ドンハマ★さん代表の「えほん未来ラボ」はこちら

<https://ehonmirai-lab.org/>



しろいうさぎとくろいうさぎ

ガース・ウィリアムズ 文・絵
まつおかきょうこ 訳
1965年発行 福音館書店 1,320円

しろいうさぎとくろいうさぎがふわふわと描かれていてとてもかわいいです。くろいうさぎの考えごとは何なのか、それを聞いてしろいうさぎはどうするのか、読んだ後に優しい気持ちになれる絵本です。

推薦者：Daisies (柏市旭町)



わにさんどきつ はいしゃさんどきつ

五味太郎 作
1984年発行 偕成社 1,100円

歯医者さんにやってきたワニさん。二人は真逆の存在なのに、中身は臆病者で似ているところが面白いです。そしてワニなのに歯医者に行くのを怖がっていて、ギャップ萌えがたまらないです。

推薦者：わいろ (柏市旭町)



へんしんトンネル

あきやまただし 作・絵
2002年発行 金の星社 1,320円

文字が大きくて読みやすく、色もカラフルで読んでいて楽しいです。絵も丸っこくてかわいらしいです。最初のキャラクターがトンネルの中で何に変化していくのか、ワクワクしながら読める絵本だと思います。

推薦者：乳酸菌 (柏市旭町)



おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん

長谷川義史 作
2000年発行 BL出版 1,540円

おじいちゃんのおじいちゃんのことと長回しが読み聞かせでは大変。でも、子どもたちが「がんばれー」と応援してくれました。お父さんやおじいちゃんの出番ですよ。

推薦者：根図美音呼 (柏市八幡町)

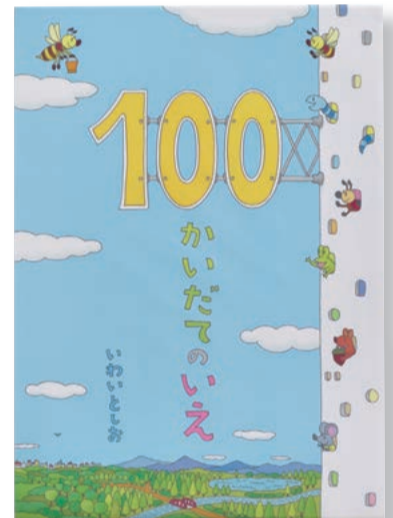


コウモリとしゃかんへい

ブライアン・リーズ 作・絵
さいごうようこ 訳
2011年発行 徳間書店 1,650円

めったに入れない図書館の中でのコウモリたちの喜びようが、なんともいえません。

推薦者：田村昭一 (千葉県野田市)



100かいだてのいえ

いわいとしお 作
2008年発行 偕成社 1,320円

ページごとに住んでいる生き物が変わるので、本の端っこの方の絵を見て次の階で何が出るか予想するのが楽しみ。少しずつ階が上がっていくにつれて、100階で何かおこるかワクワク! ドキドキ! してきますよ。

推薦者：ふじいかずたか (我孫子市根戸)



※絵本はすべて税込価格です。



絵本といっしょに暮らす
~海外生活19年、子育てと旅行と絵本~

kamon コンシェルジュとして活躍する上田立果さん。ご主人の仕事の関係でオーストリアのウィーン、ギリシャのアテネなど、バルカン半島を南へ移住。海外で長く過ごされました。異国の地での暮らしには苦労もありましたが、子育てや旅行、家族の時間の中にいつも「絵本」があったそう。そんな上田さんに「絵本」のエピソードをお聞きました。



kamon コンシェルジュ
上田立果さん



クリスマスマーケット
絵本屋台(ウィーン)

上田さんの両親が本好きなこともあり、いつもそばにあった「絵本」の存在。家の絵本専用本棚にはお気に入りたくさん並びます。4歳からオーストリアのウィーンで生活する愛娘さんは、日本語の学校に通わなかったこともあり、「日本語にふれさせたい」と青山のクレヨンハウスから毎月絵本を送ってもらっていたそうです。なかでも『ことばあそびうた』が娘さんも大好きで、上田さんの仙台弁とご主人の広島弁で読み聞かせ、イントネーションの違いを楽しみながらご家族で

過ごした時間は思い出のひとつだといえます。また、旅行に行ったときも世界の子どもの生活ってどんなだろう?とお土産に各国の「子どもの本」を買うことがしばしば。最近の絵本棚はそのコレクションが並べられ、紅茶を飲みながら眺める時間が幸せだとか。上田さんにとって絵本とは?「思い出を共有できる友だちのような存在です」と語ってくれました。



kamon 歴13年の
やっちゃんが取材しました!



ご自宅の絵本ディスプレイ



おおきな きがほしい

長編

さとうさとる 文 むらかみつとむ 絵
1971年発行 偕成社 1,100円

幼稚園児の頃、初めて読んでワクワクした気持ちが今でも忘れられません。庭に大きな木があったら…と小さな男の子が想像する物語ですが、イメージがどんどんふくらみ、気づけば自分も同じ夢を抱いている気持ちになります。
推薦者：久保田大介（埼玉県富士見市）



ルラルさんのだいぐしごと

長編

いとうひろし 作
2017年発行 ポプラ社 1,320円

図書館を初めて利用する際に借りた絵本です。かわいらしい絵にひかれて手に取りましたが、主人公のルラルさんの心の広さに驚いたことをとてもよく覚えています。まさかと思った後のルラルさんが印象的で大好きなお話です。
推薦者：はるた（柏市花野井）



ハグくまさん

大人に読んでほしい

ニコラス・オールドランド 作 落合恵子 訳
2011年発行 クレヨンハウス 1,650円

どんな他の動物、生き物に対しても優しくしようとし、自分にとって理解できないものに対しても自分のできる解決方法で臨もうとする姿はとても優しい姿です。
推薦者：オクダ（柏市豊四季）



アライバル

大人に読んでほしい

ショーン・タン 著 小林美幸 訳
2011年発行 河出書房新社 2,750円

arrivalという言葉は、出現・到来という意味をもつ。繊細に描かれた、見知らぬ土地へ移住してきた男性の様子をコロナ禍の私たちに思わず重ねてしまう。この文字のない絵本は私たちに前を向く勇気を与えてくれる。
推薦者：カイ（柏市大津ヶ丘）



マンモスの謎

科学

アリキ 作 千葉茂樹 訳 小島郁生 監修
1997年発行 あすなる書房 1,430円

アリキさんの絵が素敵なのに加え、千葉茂樹さんの訳が素晴らしい。息子とよく読みました。アリキさんの絵をまねし、マンモスの絵を息子の名前代わりにしました。
推薦者：ぐら（埼玉県吉川市）



おきなぐさ

大人に読んでほしい

宮沢賢治 作 陣崎草子 絵
2019年発行 ミキハウス 1,650円

変わることを恐れる必要はないと思わせてくれたお話です。また、陣崎さんのカラフルな絵が、多様な光を届けてくれます。
推薦者：わかすぎさちえ（埼玉県越谷市）

※絵本はすべて税込価格です。



「ぞうさんのしっぽ」代表
宮本雪子さん

知っていますか？

絵本の読み聞かせで幸せ体験を届けたい！
柏の図書館で活躍する読み聞かせボランティア

柏市立図書館には読み聞かせなどのグループが39団体登録していて、絵本を愛する思いを市民の皆さんにお届けしています。小さなお子さんだけでなく、時には大人をも癒してくれる絵本。どんな思いで活動されているのか、読み聞かせのボランティア歴10年宮本雪子さんにお話をうかがいました。

元々私は市立かしわ幼稚園の職員だったのですが、2001年にかしわファミリー・サポート・センターの創設に携わり、2008年のこども図書館オープンの際、ファミサポの仲間を誘って「ぞうさんのしっぽ」を結成しました。現在22人でチームを組んで活動しています。今はコロナ禍で思うように活動できませんが、こども図書館では通常、毎日異なるグループが読み聞かせを行っているため、私たちがここで活動するのは月に1回だけ。それだけボランティア層が厚いということですね。

また、こども図書館ではボランティアのための研修会や講演会が定期的開催され、絵本作家さんにご自身の作品を読んでもらうなど、読み聞かせ技術を磨く機会もあります。それでも上手に読まなきゃと身構えるのではなく、子どもたちにきれいな絵とリズムカルな言葉を感じてもらって、幸せな体験をたくさんしてもらえればいいなという思いで私もメンバーも活動しています。何より気の置けない仲間と一緒に楽しく活動できることは幸せですね。

絵本と私とつながるストーリー ③

ボランティアは随時募集しているので、ご興味のある方は、登録されてみてはいかがでしょうか？



素敵な絵本に、であいたくなったら



Let's go!
絵本の森へ!



柏市立図書館 こども図書館

豊富な絵本の蔵書と心地よい空間。
赤ちゃんから大人まで、みんなの憩いの場となっています!

柏市立図書館「こども図書館」は、絵本や児童書などを専門に扱う県内初の図書館で、2008年にオープンしました。館内は、靴を脱いでゆっくり絵本を楽しめるフローリング。冬季は床暖房も入って快適なスペースとなっています。

こども図書館ならではの授乳室、おむつ替え用ベッド、ベビーベッドなど赤ちゃんのための設備が充実していること。これなら小さなお子さん連れでも安心して利用できますね。



蔵書数はなんと2万冊以上!

国内外の絵本、育児雑誌、大型本や紙芝居などが館内をぐるっと囲むように並んでいて、たくさんの絵本に心ときめくのは、子どもだけではなく、大人も子ども心に帰って想像の世界に浸ることができすよ!

また、本の閲覧だけではなく、毎日(コロナ禍では不定期開催)、ボランティアによる読み聞かせや、親子で楽しめる音楽などの行事が開催されているのも魅力です。一方、読み聞かせボランティアを育成する研修も定期的に実施され、興味のある人が気軽に参加しやすい環境も整えられています。

お子さんに新しい絵本を読み聞かせするため、自分のフィーリングに合った絵本を見つけるため、読み聞かせボランティアをするため——たくさんの夢や希望に満ちた絵本にであうために、あなたも足を運んでみませんか?

【住所】柏市大島田 48-1 柏市役所沼南庁舎 1 階
【電話】04-7108-1111
【利用時間】9時30分～17時
(火曜日～日曜日、祝日・休日)

【アクセス】
柏駅東口より、手賀の丘公園・小野塚台・沼南車庫・布瀬行きバスで「沼南庁舎バス乗継場」下車、徒歩1分
(「沼南庁舎バス乗継場」に停車しない一部のバスについては「大木戸」下車、徒歩2分)



こんな図書館がほしかった!
住民の熱いオモイで生まれ変わった

柏市立図書館 南部分館!

本年5月リニューアルオープンした「南部近隣センター(ふれあいプラザ)」内の「柏市立図書館 南部分館」。館内は、一人で静かに本を読めるブース席、ガラス越しに木々を眺めながら読書を楽しめるカウンター席、お子さんが靴を脱いでゆったり絵本を読める子ども図書コーナーなど、読書の楽しみが広がる空間となっています。

また、木箱を組み合わせで作られた本棚や、天井から吊るされたカラフルな球状の照明の数々など、内装もおしゃれで、スタイリッシュ! 子ども図書コーナーには冬季は床暖房が入るそうです。近隣センター内には「南部こどもの広場」もあり、「南部公園」も隣接しているので、お子さん連れのご家族にもウレシイ図書館です。



【住所】柏市新逆井 2-5-13 南部近隣センター内
【電話】04-7172-9194
【利用時間】10時～17時(火曜日～日曜日、祝日・休日)

【アクセス】

- ・新成線五香駅東口より、柏陵高校行きバスで「近隣センター」下車、徒歩1分
- ・かしわ乗合ジャンボタクシー逆井コース「南部近隣センター」下車



大人も子どもも楽しめる
kamon
つながる
ライブラリー



kamon

つながるライブラリーって
どんなところ?



2019年11月にかしわインフォメーションセンター内に開設した「kamon つながるライブラリー」。「であえる絵本箱」「シェアする本棚」という2つのコーナーを設置し、たくさんのお客様が当ライブラリーの本を手にとって、思い思いに楽しんでいただいています。

「であえる絵本箱」

柏で活躍中の5人の方々に、「ライブラリアン(本の選定者)」として5冊ずつ絵本を選んでいただき、25冊の絵本を並べました。この1年、お子さん連れのお客様が、待ち時間に絵本の読み聞かせをしてご利用になるなど、ほほえましい親子の姿もよくお見かけしました。絵本をキッカケに、柏のまちでどんな人がどんな思いで活躍しているのか知っていただけただけでしょうか? 来年度は「絵本箱」もリニューアル! どうぞご期待ください。

「シェアする本棚」

ひとことというと、本の物々交換所。ご自身のお気に入り本を2冊お持ち込みいただくと、「しおり」を1枚進呈。本棚からお気に入りの本を1冊選んで、しおりと交換できるというシステムです。このしおりは、「本の交換券」となるもので、誰かにプレゼントすることもできます。

しかも、ただ交換するだけではないのが「シェアする本棚」の特徴。お持ち込みいただいた際、本の感想やオススメのコメントを専用の帯(オビ)に書いていただき、見知らぬ人が本を手に取り、帯を眺めることで「オモイ」が共有できる! — この「本をタッチポイントに人と人のオモイが広がる」というコンセプトに共感の輪が広がり、開設以来お持ち込みいただいた本は、1,500冊を超えました!

コロナ禍において対面でのコミュニケーションが憚られるような昨今ですが、本を手取るたびに、かわる人たちのオモイとぬくもりを感じていただける……そんなライブラリーです。



kamon

かしわインフォメーションセンター
Kashiwa Information Center

kamon (かもん) かしわインフォメーションセンターについて
柏駅南口から徒歩1分。柏市や近隣市町の地域の情報提供をしています。
イベント観光情報のほか、各種MAP、まだ知られていない柏の魅力も発信中。
お気軽にお立ち寄りください。

